

豊田市立末野原中学校

< 12月 > 数学科



志水廣先生を招いて、3年数学の研究授業を行いました。丸付け法の効果を検証する授業実践です。



授業を映像で記録し、研究協議会では、発問の一つ一つの的確さを生徒の反応から分析し、教師の発問の重要性を認識しました。

< 12月 > 理科



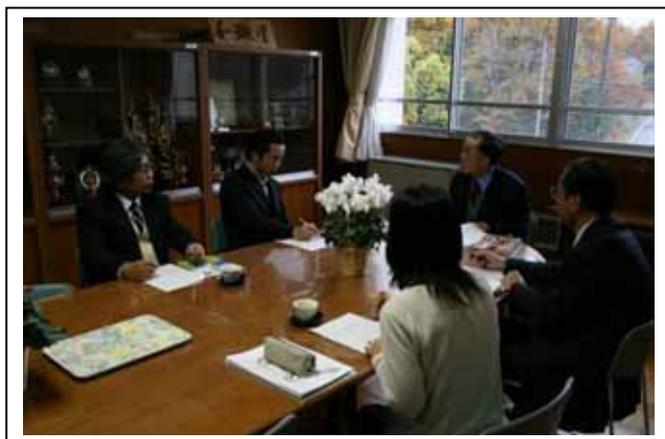
理科部では、炭素棒電極を改良し、物質が「溶ける」「混ざる」「電離する」を比較する実験を行いました。杉浦渉先生から、「話し合い活動を大切にして、生徒が目的意識をもって授業に望めるような工夫が必要です。」と指導を受けました。

< 1月 > 理科



安価に入手できるデジタル温度計(1本1,200円)を24本使用し、水蒸気と水滴の違いを明らかにする実験を行いました。杉浦渉先生から、数値の変化に気をとられ、暖まる・冷えるといった重要な視点を見失わせていたことを指摘していただきました。

< 1月 > 英語科



毎回、時間割を工夫して、英語部全員が1つの授業を分析し、授業名人である藤田吉信先生を囲んで授業分析会を行いました。

若い教師が、中堅の教師に指導を求める場面が多く見られるようになってきました。授業の合間や授業後に、自ら立てた指導案を先輩教師に見せて意見を求めています。授業名人活用の期間が終了しようとしていますが、特に若い教師の授業改善意欲は年度当初には見られない活発なものになってきました。



< 2月 >

2月9日には、英数社理の教科で授業名人を招聘し、各教科の成果を名人に見せる研究授業を行いました。

2月23日には、全体指導を受けてきた鈴村勲先生を招いて、授業名人活用のまとめを行う予定です。